

■ その他の配慮や工夫 障がい者が「困ったこと」「あったらいいな」と思う配慮や工夫

エレベーターに防犯カメラを設置してほしい。	聴覚障がい
地域住民に対する啓発をお願いしたい。	知的障がい、精神障がい、盲ろう
障がい者差別をやめてほしい。	盲ろう
発達障がいはワガママと思われる時があるので周囲の人や社会から障がいに対する偏見がなくなってほしい。	肢体不自由、知的障がい、精神障がい
盲導犬への理解が進んでほしい。	視覚障がい
生活の緊急の場面でボランティアに助けてほしい。	視覚障がい
投票場の数を増やしてほしい。使いやすくスロープ等も整備してほしい。	肢体不自由
選挙の際、点字資料が公示後に送られてくるが投票日までの期限が短いのですべてを把握できない。公示日から、投票までの期限を延長するか、もっと早く点字資料を送付してほしい。	盲ろう
投票は国民に与えられた権利であり、投票所でのコミュニケーション保障は行政で用意してほしい。	盲ろう
選挙で、下肢障がい者等に対しては、郵送での投票の範囲を広げて欲しい。(投票所は歩いていくには遠く、車で行くには近すぎ、道も狭く駐車場も無い。期日前投票に行くくらいなら棄権する)在宅で寝たきりの人もきっと同じ思いの人が多はず。	肢体不自由
健常者との結婚や出会いの場を斡旋するような相談所を作っていただきたい。	肢体不自由・精神障がい
パソコン講習をしてほしい。	視覚障がい
講演会などでも手話通訳や、要約筆記のサポートがあるとうれしい。	聴覚障がい
障がい者に対する制度の周知、関係機関における制度の説明会をしてほしい。	精神障がい
障害者権利条約の早期批准、関係法令の早期整備を望む。	視覚障がい
身体障がい者手帳を紙ではなく、免許証のようなカードにしてほしい。	聴覚障がい、肢体不自由
障がい程度区分認定時、身体的不都合の質問が多くて疲労した。聴覚が敏感すぎて外出が困難となり、そうした閉じこもり時には体力が衰えてさらに外出がしづらくなったり、眠りにくくなる等、精神疾患による暮らしづらさを、素直に表現できるような項目づくりをして欲しい。	精神障がい
障がい年金申請の手続きにおいて、症状固定日が初診日から1年半後と決まっていることに困惑した。長期の経緯がある中、医療を中断したり、引越しの繰り返して、過去の通院先の名前が思い出せなかった。記憶に新しい現状に近い通院の状況で、申請手続きできるようにして欲しい。	精神障がい